

【申請事業予算書（助成金額計算書）】

1. 支出

区分	科目	金額	積算内訳 ★できるだけ内訳を具体的に記入してください。 【記入例】講師謝金 @○○円（単価）×○○人（数）＝金額
助成対象経費 (A)	1 福祉活動機器購入費	円	(様式第1号その2で事業区分「福祉活動機器購入」を申請された場合のみ記入)
	2 普及啓発物等作成費	円	(様式第1号その2で事業区分「普及啓発」を申請された場合のみ記入)
	3 交通費	円	(ボランティアへの実費弁償（交通費）については、こちらに計上してください。)
	4 会場使用料	円	
	5 講師謝金	円	(講師の実費相当の交通費も含めて1人10万円までとなります。物品や菓子折りなどは認められません。)
	6 手話、要約筆記等 ボランティア謝金	円	(手話、要約筆記等ボランティアの実費相当の交通費も含めて1人1万円までとなります。)
	7 その他事業費	円	(申請事業に特化したもののみが対象となります。団体の運営に要する事務用品等は対象外です。)
小計 (A)		円	(助成金の対象となる経費です。)
助成対象外経費 (B)		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
	小計 (B)		円
支出合計 (C)		円	(C)=(F)=(A)+(B)

## 2. 収入

科目		金額	積算内訳 ★できるだけ内訳を具体的に記入してください。 【記入例】参加費 @○○円（単価）×○○人（数）＝金額
大阪府福祉基金助成金（D）		円	(D) = (F) - (E) (D) ≤ (A)（千円未満は切捨てです。）
自己資金等収入（E）	ア 会費・参加費・協賛金	円	（事業にかかる参加のための会費はここに記入してください。）
	イ 寄附金	円	（事業にかかる寄附金はここに記入してください。）
	ウ 団体拠出金	円	（年会費、月会費、団体に対する寄附金等自己資金はここに記入してください。）
	エ 上記以外の収入	円	（ア～ウ以外の収入については、ここに記入してください。）
小計（E） （＝ア＋イ＋ウ＋エ）		円	※（E）は（F）の内 10%以上が必要です。（円未満は切捨てです。）（満たさない場合は申請できません。） ※下記必ず計算のうえ、記入してください。 (F) × 0.1 = ( ) ≤ (E)
収入合計（F）		円	(F) = (C) = (D) + (E)

大阪府福祉基金地域福祉振興助成金 交付申請額（G）	円	(G = D ≤ A)（千円未満は切捨てです。）
------------------------------	---	--------------------------

★大阪府福祉基金地域福祉振興助成金以外の府や市町村、その他からの助成金等が含まれている場合は申請できません。